

# 無料セミナー：オンラインor訪問実施します - コミュニティも可

a-anezaki@nec.com まで、ご相談ください

## ■ タイトル：OSSライセンスと著作権法のポイント

### ～正しいOSSライセンスの理解の仕方～

■ 時間：2時間 - 1時間超のセミナー、サービス紹介と質疑応答 (1-2名から数十名でも可)

■ 講師：NEC OSS推進センター 姉崎 章博

■ スライド概要      テキスト：[https://jpn.nec.com/oss/osslic/doc/20200513\\_PointOfOSSlicenseAndCopyrightLaw16up.pdf](https://jpn.nec.com/oss/osslic/doc/20200513_PointOfOSSlicenseAndCopyrightLaw16up.pdf)

- フリーソフトウェアとOSSの概史
- OSSライセンスはどんな条件が書かれているのか
- OSSライセンスの位置づけ
- OSSライセンスとソフトウェアライセンス(ex.EULA)との違い
- 2009年12月、14社がGPL違反で提訴された
- GPLv2 第3条の読み方
- GPLは契約ではないならば、何か？

■ 無料の理由：企業・コミュニティ・弁護士問わず、都市伝説を語る人が多いため。

一度聞いてもらわないと、有償の価値をわかってもらいにくいいため。

# GPL感染/伝播の誤解を根拠に基づいて解消します

## OSSライセンスと著作権法 講義(5H)

第1章 OSSは一般に他人の著作物

第2章 OSSライセンス違反とは

第3章 著作権について

著作物・著作権が  
どういうものか  
理解いただいてから、

第4章 OSSライセンスの概略

第5章 GPL感染/伝播などの都市伝説について

第6章 基本的な対策例

著作権行使の  
ライセンス  
として見ると、  
何が記述されている  
のか理解できる

補遺 GPLv3について

補遺2 体制例

1回5名まで30万円, 10名まで40万円, 20名まで50万円  
御社の会議室に出向いて講義します。

- 基本5H(補遺の説明なし), 100ページ超のテキスト(2.5H\*2日が望ましいが要相談)  
※ご希望により、ゆっくり7H、端折って4Hも可能です。(費用変わらず)  
7H(補遺の説明あり)/4H(補遺の説明なし)

次回、2020年6月23,30日(火) Zoomで実施。

詳細は、<https://jpn.nec.com/oss/osslic/> 掲載PDF参照

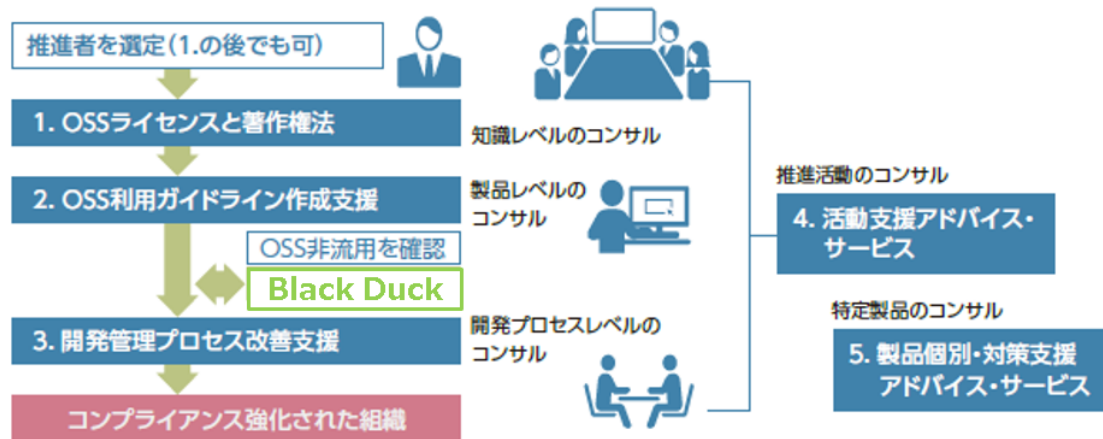
一人8万円の公開(公募)セミナーの開催も可能  
•他社と同席、補遺テキスト無し、2.5H×2回

# OSSライセンス コンサルティング

<https://jpn.nec.com/oss/ossic/>

1.	<b>OSSライセンスと著作権法 講義</b>	「なんとなくしか知らなかったGPLが目から鱗」と好評な著作権法からOSSライセンスを正しく理解するための講義です
2.	<b>OSS利用ガイドライン作成支援</b>	提示いただいた具体的な製品とOSSの事例をケーススタディに、OSSライセンスの正しい理解のガイドラインを作成します
3.	<b>開発管理プロセス改善支援</b>	開発または品質管理システムにチェックポイントを組み込み、統制の取れた開発管理・品質管理標準の改善をご支援します
4.	<b>活動支援アドバイス</b>	御社の特定のOSSライセンス・コンプライアンス活動に対して、年間を通じて、アドバイスをご支援するサービスです
5.	<b>製品個別・対策支援アドバイス</b>	御社の特定の製品に対して、目視あるいはツールを利用した結果、認識されたOSSライセンスに対して、アドバイスを提供します

## OSSライセンス・コンプライアンスの推進ステップ



# OSSコード検出・セキュリティ対策ツール Black Duck

製品単位で利用しているOSSを可視化し、脆弱性やOSSライセンス違反などのリスク対策を、開発から運用までライフサイクル全般に渡り支援します。

- 製品に含まれるOSSを高速に自動特定、脆弱性やライセンス違反リスクを平易なUIで可視化。
- 製品リリース後に新たに発見した脆弱性情報は、影響のある製品の担当者へ迅速に通知。
- 従来製品（Black Duck Protex）で検査済みの過去資産を容易に移行。

